

試験方法（給水弁付タイプ）

Photo 1

① 試験準備

注水。（Photo 1）
耐圧試験機に2～4リットルの水を入れる。



Photo 2

② 試験準備

本装置を消火栓付近まで持って行き、検査するホースを差込式金具に接続する。（Photo 2）

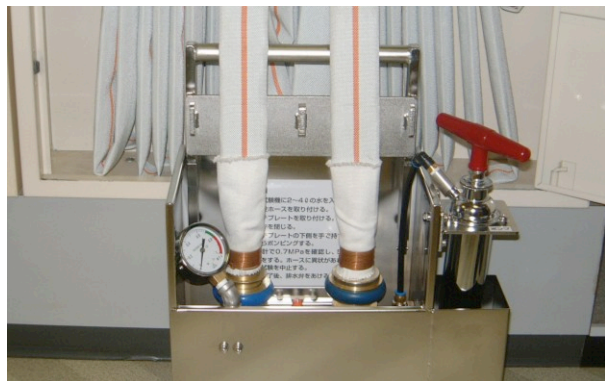


Photo 3

③ 試験準備

ピンチプレートを取付ける。
（Photo 3）

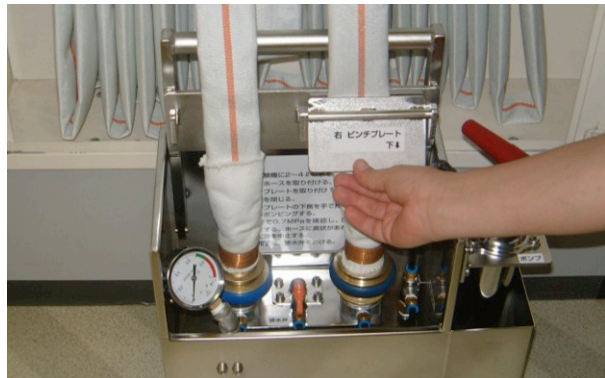


Photo 4

④ 試験準備

排水弁を閉じる。（Photo 4）



Photo 5

⑤ 加圧

ピンチプレートを手で持ち上げながらポンピングを行い、0.7MPa 近くになればゆっくりポンピングを行う。(Photo 5)



※加圧直後はホースの径膨張により圧力が低下しますので、3～4回ゆっくりと再加圧をして下さい。尚、加圧の際は極力安全弁を開放させないように操作して下さい。安全弁は約0.8MPaで解放するように設定してありますが、ご使用条件等により、若干変動していることがあります。

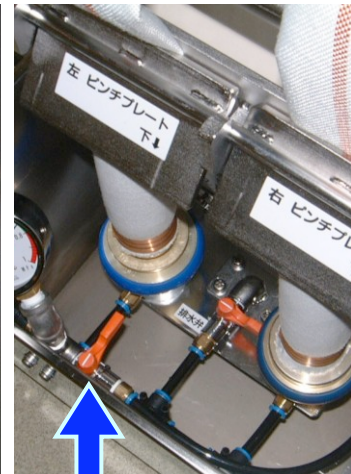
Photo 6

⑥ リーク確認

圧力計で0.7MPaを確認し、5分間試験をする。
ホースに異状があれば直ちに試験を中止する。(Photo 6)
※加圧水がごく僅かポンプ側へ逆流し、圧力が低下する場合があります。その場合は給水弁を閉じて下さい。(Photo 7)



Photo 7



※給水弁がないタイプもあります。

給水弁

Photo 8

⑦ 排水

試験完了後、排水弁をゆっくり解放する。(Photo 8)
※排水された水は、汚れていなければ繰り返し使用することができます。



安全弁について

安全弁は、開放すると使用水中の異物がシール部に付着することがあり、これが積み重なると安全弁の作動圧力が低下したり、安全弁から漏水したりすることがあります。

ご使用の際は清涼な水を使用し、極力安全弁を開放させないように操作して下さい。

また作業中にも、ゴミなどの異物が本体内に落ちた際は、極力取り除いて下さい。

※安全弁交換の際は、相手側メスネジ部をエア等で清掃し、異物を完全に取り除いて下さい。

組付けの際は、必要以上に締め付けすぎないでください。

ピンチプレートについて

ピンチプレートは歪があると止水不良になりますので、新品に交換して下さい。

ただし歪が僅かな場合や、歪がなくてもホースの状態などにより止水が完全でない場合には、背板部分にゴムシートを当てることで、改善することがあります。

ゴムシート貼り付け例

厚さ 1.5mm 程度、幅はホース幅以上のゴムシートを、背板部分に薄手の両面テープ又は市販のゴム用接着剤（コニシボンド G-17 等）にて貼り付けて下さい。

(Photo 9、Photo 10)

Photo 9 (右側のみゴムシートを取付けた状態)



ピンチプレート部断面略図

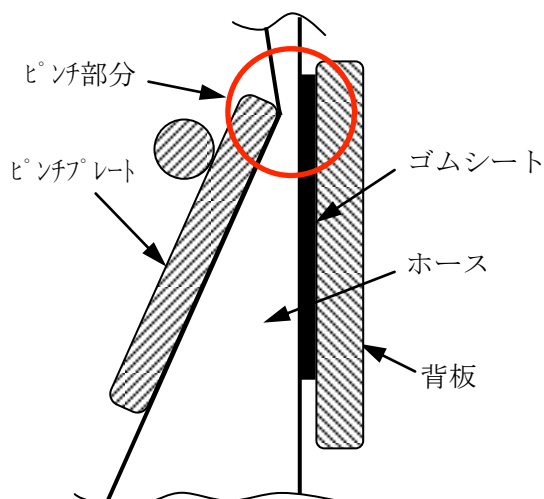


Photo 10

